

● 「さんちき」での学習を振り返って、感想のもち方や考えの広げ方について考えましょう。
○ 「三吉」が親方に無断で、車の矢に自分の名を彫ったことについてAからDまでの感想をもちました。これらの感想について下の問いに答えなさい。

「さんちき」	感想
<p>(前略)</p> <p>車大工は、自分の気に入った車が作れたとき、名前をそっと彫っておく。だから三吉も彫ることにした。親方とおかみさんが寝てしまうのを待って、夜中にそっと起き出してきた。彫ってしまったら、こちらのものだ。なんぼ親方が怒鳴っても消えることはない。</p> <p>字には、あまり縁がないけど、平仮名で自分の名前の、</p> <p>さんちき</p> <p>とだけは、どうにか書ける。</p> <p>道具箱の中からのみを取ってきて、ろうそくの明かりを頼りに、「さ」の字から彫り始めた。カシの木は堅い。よく研いであるのみなのに、かなり力がある。横線と斜め下へ伸びる線は、何とかうまくいったが、丸みをつけるところが難しい。丁寧に彫り込みたいけど、親方が目を覚ましたらたいへんだ。それに、明かりをつけておくと物騒だ。</p> <p>： (中略) :</p> <p>三吉は、急いで「ん」の字に取りかかった。気が焦って、なかなか思うようにいかない。丸い所が角張ってしまった。構わず彫り進む。鼻の頭に、ぷつぷつと汗が吹き出す。</p> <p>続いて三字目も彫り終わり、残るはあと一字だけになった。のみを持ち直して彫っていく。</p> <p>「何してるんや！」</p> <p>いきなり親方の怒鳴り声が響いた。</p> <p>(後略)</p>	<p>A 「三吉」は、親方に隠れて、車の矢に自分の名を彫ったので、悪いと思う。</p> <p>B 「三吉」は「親方が目を覚ましたらたいへんだ」と思っているし、「親方が怒鳴る」とも予想しているのに名前を彫っている。それほど彫りたかったのだ。</p> <p>C 「三吉」はあまり縁のない文字を、親方に隠れて、怒鳴られるのも覚悟の上で彫っている。僕なら苦手な字を書こうとは思わないし、怒鳴られるのは嫌だから、怒鳴られると分かっていることはしない。では、「三吉」と僕を分けるものは何だろうか。それは、車の矢を確かに自分が作り上げたという達成感であり、自信であり、昂揚感<small>こうようかん</small>であったのではないだろうか。僕にはその経験がなく、「三吉」にはそれがあったのだ。</p> <p>D 車の矢に名前を彫るのは、一人前の職人が自分の気に入った車を作ったときにすることだ。「三吉」は初めて車の矢を作る手伝いをして、満足のいくものを作り上げた。それは、まさしく「自分の気に入ったもの」であったに違いない。「三吉」は、当然の行いとして名前を彫った。親方の怒りに触れるのも覚悟の上で。その大胆さは、車の矢を確かに自分が作り上げたという自信に裏うちされて、「三吉」を無謀ともいえる行動にかりたてたのだ。</p>

▽次の①～④までの説明は、上のAからDまでの感想のどれについての説明ですか。あてはまる記号を() に書き入れなさい。

《感想についての説明》

《感想をもつときのポイント》

- ① (A) の感想は、「三吉」が車の矢に無断で自分の名を彫ったことについて、「三吉」の年齢や置かれた状況などの条件を全く考えずに、よい悪いの判断をしている。
- ➡人物の行動について、よい悪いを判断するだけでは、感想を深めることができません。その人物の年齢や性格、置かれた状況などさまざまな条件を考えることが大切です。

- ② (B) の感想は、「親方が目を覚ましたらたいへんだ」というところや「親方が怒鳴っても」「彫ってしまったえば、こちらのものだ」というところを根拠にして、「それほど彫りたかった」と「三吉」の気持ちを推し量っているので、いくつかの文章の言葉を根拠にして感想を導いていると言える。
- ➡文章に書かれた言葉を根拠にして考えをまとめることは大切です。そのときには、一面だけを取り上げるのではなく、総合的に考えることができるように根拠をとらえるようにします。Bの感想は、登場人物の欲求の強さは考えていますが、その欲求がなぜ起こったかについては考えていません。

- ③ (C) の感想は、「三吉」と自分を比較し、自分だったらしないことを「三吉」はしているということをとらえて、その理由を考察している。
- ➡自分の経験と照らし合わせて、共通点や相違点を明らかにすることは大切です。その上で、自分もった感想をまとめるようにしましょう。

- ④ (D) の感想は、「三吉」の生きている職人の世界の習わしを押さえて、「三吉」が車の矢に名前を彫るにいたった心境と重ね合わせている。そうはいうものの、現実には「一人前」には程遠い身の上で、親方の指導のもと、「初めて」車の矢を作ったのである。だから、親方が責任をもって作り上げている車に無断で自分の名を刻むことが許されるはずがない。それが分かっているながら、やってしまうという「無謀な行動」にかりたてた「大胆さ」が何によるものか考察している。
- ➡人物の年齢や性格、職業や生活習慣、人間関係など、人物についての情報を読み取ることが大切です。
- ・人物像Ⅱ年齢、性格、習慣、行動傾向：
 - ・置かれた状況Ⅱ歴史的状況、社会的状況
- 家族・職場等の人間関係：
- ➡書かれた出来事を「無謀な行動」「大胆さ」「自信」というような言葉で一般化して想像しやすくすることも大切です。その上で心情を推し量ったり、出来事の原因を考察したりすると感想を深めることができます。

●物語や小説などの文学的な文章を読んで感想をもつときに気を付けることを次の2つにまとめ、「少年の日の思い出」を読んで感想を交流する学習に取り組みましょう。

- 1 場面の展開や、心情や情景を表す言葉に注意して読み、内容の理解を深めること
- 2 感想を交流して、考えを深めること